

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密または防護上の観点から  
公開できません。

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-964 改0
提出年月日	平成30年7月30日

## V-3-9-2-5-1-2 管の応力計算書

まえがき

本計算書は、添付書類「V-3-1-6 重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」及び「V-3-2-11 重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づいて計算を行う。

評価条件整理結果を以下に示す。なお、評価条件の整理に当たって使用する記号及び略語については、添付書類「V-3-2-1 強度計算方法の概要」に定義したものを使用する。

評価条件整理表

応力計算 モデルNo.	既設 or 新設	施設時の 技術基準 に対象と する施設 の規定が あるか	クラスアップするか				条件アップするか				既工認に おける 評価結果 の有無	施設時の 適用規格	評価区分	同等性 評価 区分	評価 クラス	
			クラス アップ の有無	施設時 機器 クラス	DB クラス	SA クラス	条件 アップ の有無	DB条件		SA条件						
								圧力 (MPa)	温度 (℃)	圧力 (MPa)						温度 (℃)
AC-SGTS	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
RCIC-2	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.69	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
RCIC-32	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.69	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-01	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-02	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-03	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-04	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-05	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	2.50	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	1.0	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-002R5F	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-003YD	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-007YD	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2

NT2 補② V-3-9-2-5-1-2 R1

応力計算 モデルNo.	既設 or 新設	施設時の 技術基準 に対象と する施設 の規定が あるか	クラスアップするか				条件アップするか				既工認に おける 評価結果 の有無	施設時の 適用規格	評価区分	同等性 評価 区分	評価 クラス	
			クラス アップ の有無	施設時 機器 クラス	DB クラス	SA クラス	条件 アップ の有無	DB条件		SA条件						
								圧力 (MPa)	温度 (℃)	圧力 (MPa)						温度 (℃)
PV-008YD	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-009YD	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.62	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-202YD	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	2.50	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
PV-203R1F	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	2.50	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2
	新設	—	—	—	—	SA-2	—	—	—	0.69	200	—	—	設計・建設規格	—	SA-2

## 目 次

1. 概要 .....	1
2. 概略系統図及び鳥瞰図 .....	2
2.1 概略系統図 .....	2
2.2 鳥瞰図 .....	5
3. 計算条件 .....	8
3.1 設計条件 .....	8
3.2 材料及び許容応力 .....	12
4. 計算結果 .....	13

## 1. 概要

本計算書は、添付書類「V-3-1-6 重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針」並びに「V-3-2-11 重大事故等クラス2管の強度計算方法」に基づき、管の応力計算を実施した結果を示したものである。





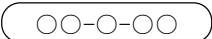
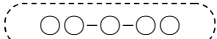

### (1) 管

工事計画記載範囲の管のうち、最大応力評価点の評価結果を解析モデル単位に記載する。また、全15モデルのうち、最大応力評価点の許容値／発生値（裕度）が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を5.に記載する。

## 2. 概略系統図及び鳥瞰図

### 2.1 概略系統図

#### 概略系統図記号凡例

記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (重大事故等対処設備)
 (太破線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (設計基準対象施設)
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他 計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管の うち、他系統の管であって系統の概略を示すために表 記する管
	鳥瞰図番号 (鳥瞰図, 計算条件及び評価結果を記載す る範囲)
	鳥瞰図番号 (評価結果のみ記載する範囲)
	アンカ
[管クラス]	
DB1	クラス 1 管
DB2	クラス 2 管
DB3	クラス 3 管
DB4	クラス 4 管
SA2	重大事故等クラス 2 管
SA3	重大事故等クラス 3 管
DB1/SA2	重大事故等クラス 2 管であってクラス 1 管
DB2/SA2	重大事故等クラス 2 管であってクラス 2 管
DB3/SA2	重大事故等クラス 2 管であってクラス 3 管
DB4/SA2	重大事故等クラス 2 管であってクラス 4 管



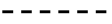


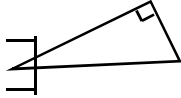
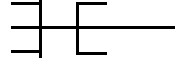

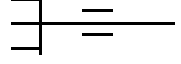


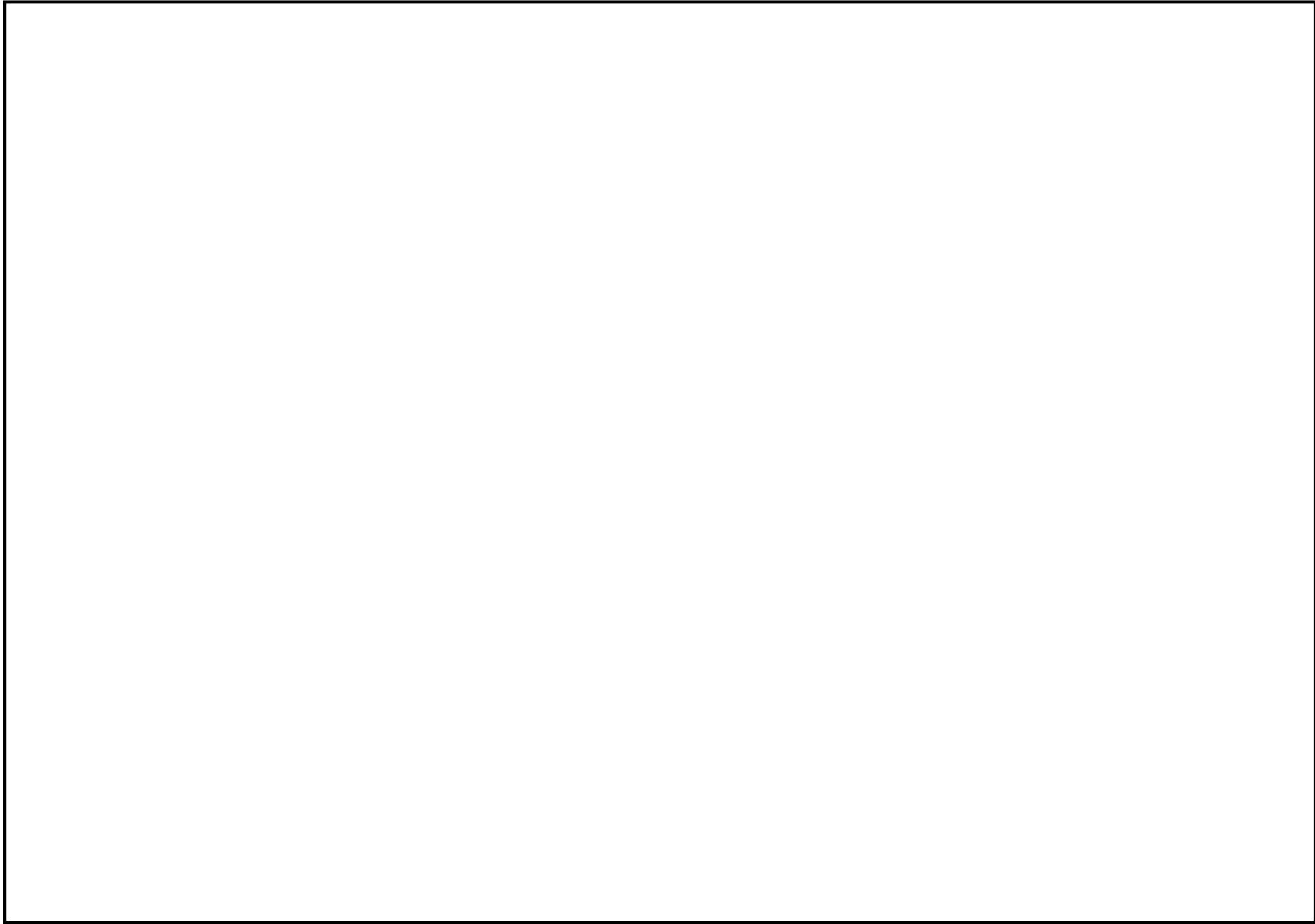


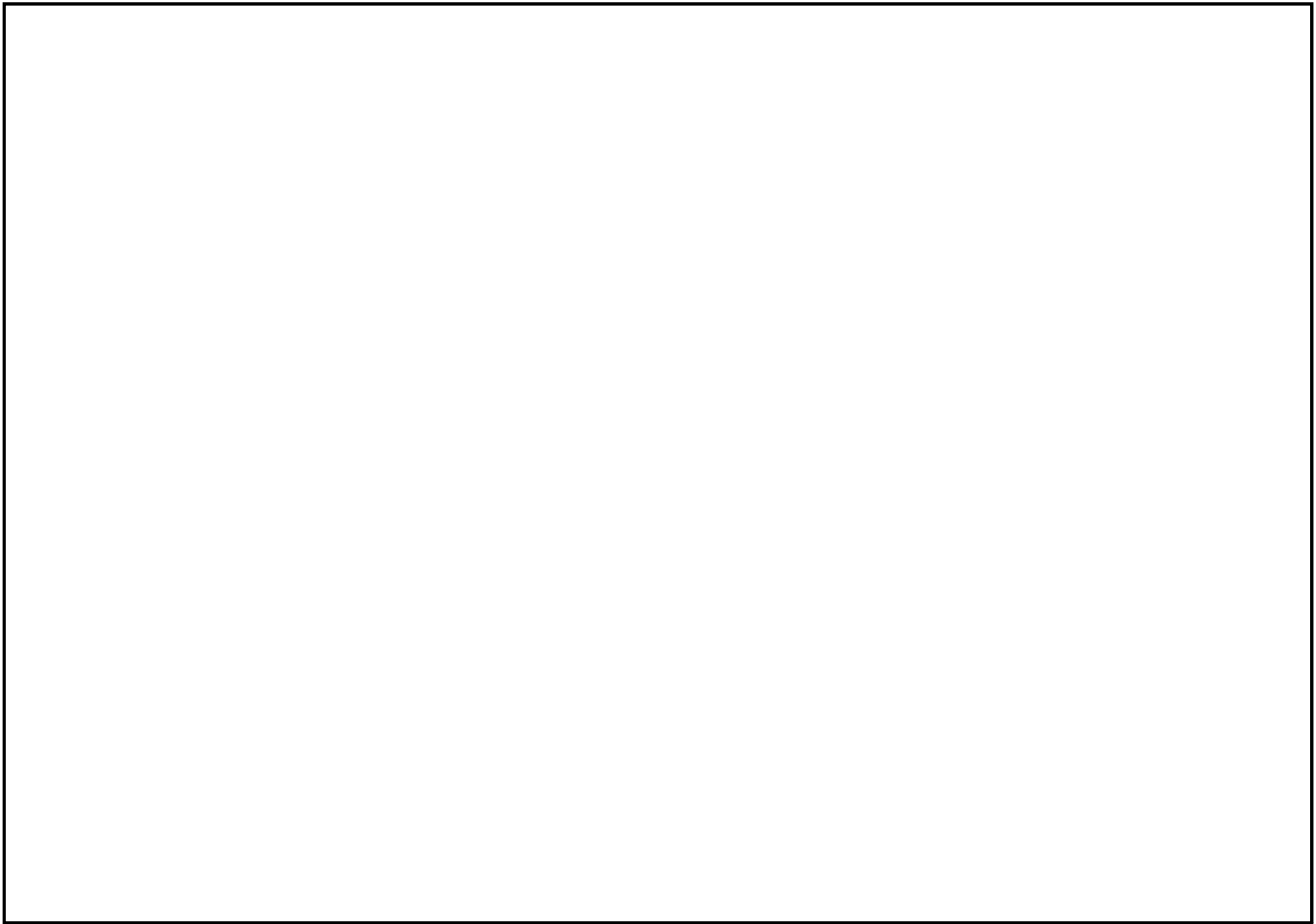


## 2.2 鳥瞰図

### 鳥瞰図記号凡例

記号	内 容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管 (重大事故等対処設備の場合は鳥瞰図番号の末尾を「(SA)」，設計基準対象施設の場合は鳥瞰図番号の末尾を「(DB)」とする。)
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって解析モデルの概略を示すために表記する管
	質 点
	ア ン カ
	レストレイント (本図は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。スナッパについても同様とする。)
	スナッパ
	ハンガ
	リジットハンガ
	注： 鳥瞰図中の寸法の単位はmmである。





7

## 3. 計算条件

## 3.1 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管番号で区分し、管番号と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図 PV-04

管番号	対応する評価点	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
1	1N~108W, 109W~5 11~15W, 16W~29N	0.62	200	60.5	3.9	SUS316LTP

フランジ部の質量

鳥 瞰 図 PV-04

質量	対応する評価点
	201F, 21F
	29N

弁部の寸法

鳥 瞰 図 PV-04

評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)	評価点	外径(mm)	厚さ(mm)	長さ(mm)
108W~109W				6~7			
7~8				8~8001			
8001~9				7~10			
15W~16W							

弁部の質量

鳥 瞰 図 PV-04

質量	対応する評価点	質量	対応する評価点
	108W~109W, 15W~16W		6, 10
	7		8
	9		



## 3.2 材料及び許容応力

使用する材料の最高使用温度での許容応力を下表に示す。

材 料	最高使用温度 (°C)	許容応力 (MPa)			
		S m	S y	S u	S h
SUS316LTP	200	—	—	—	107

## 4. 計算結果

下表に示すとおり最大応力はそれぞれの許容値以下である。

重大事故等クラス2管

設計・建設規格 PPC-3520 による評価結果

鳥瞰図	最大応力 評価点	最大応力 区 分	一次応力評価 (MPa)	
			計算応力	許容応力
			S prm (1)	1.5 S h
			S prm (2)	1.8 S h
PV-04	11	S prm (1)	59	160
PV-04	11	S prm (2)	59	192

## 計算結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類毎に裕度最小のモデルを選定して鳥瞰図、設計条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果（重大事故等クラス2管範囲）

No	配管モデル	供用状態 (A, B)					供用状態 (A, B)				
		一次応力					一次応力				
		評価点	計算応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	裕度	代表	評価点	計算応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	裕度	代表
1	AC-SGTS	385	21	150	7.14	—	385	22	180	8.18	—
2	RCIC-2	2W	4	154	38.50	—	2W	4	185	46.25	—
3	RCIC-32	81	15	160	10.66	—	81	15	192	12.80	—
4	PV-01	9	22	154	7.00	—	9	22	185	8.40	—
5	PV-02	35	36	190	5.27	—	35	37	228	6.16	—
6	PV-03	141	38	162	4.26	—	141	38	194	5.10	—
7	PV-04	11	59	160	2.71	○	11	59	192	3.25	○
8	PV-05	103	46	160	3.47	—	103	47	192	4.08	—
9	PV-002R5F	B21F	46	154	3.34	—	B21F	47	185	3.93	—
10	PV-003YD	A05	11	154	14.00	—	A05	12	185	15.41	—
11	PV-007YD	A10	14	154	11.00	—	A10	15	185	12.33	—
12	PV-008YD	A25F	43	154	3.58	—	A25F	44	185	4.20	—
13	PV-009YD	A03N	30	154	5.13	—	A03N	31	185	5.96	—
14	PV-202YD	A44	49	160	3.26	—	A44	50	192	3.84	—
15	PV-203R1F	C45F	29	160	5.51	—	B109F	29	192	6.62	—